



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 150号 2010.9.15 発行 社会政策研究所

大阪手をつなぐ育成会の就労支援の強力なパートナー、三洋商事(株)さんがこのたびハートフル企業大賞(知事表彰)を受賞されます。おめでとうございます。【kobi】

平成22年度「大阪府ハートフル企業顕彰制度」受賞企業が決定しました！

大阪府発表 2010年9月14日

「大阪府ハートフル企業顕彰制度」は、障がいのある人の雇用の促進につながる企業活動を評価し、広く府民に紹介する制度です。

このたび、ご応募もしくはご推薦いただいた企業(20社)の中から、選考委員会の審査を経て、平成22年度の「ハートフル企業大賞」、「ハートフル企業教育貢献賞」及び「らんぷのともしび大賞」の表彰企業が決定しましたので、お知らせします。「ハートフル企業大賞」及び「ハートフル企業教育貢献賞」の受賞企業につきましては、9月15日(水曜日)に、橋下知事より表彰を行います。「らんぷのともしび大賞」は、9月29日(水曜日)にドーンセンターで開催される「2010障がい者雇用フォーラム in 大阪」において表彰を行います。ご応募・ご推薦いただき、ありがとうございました。

記

○【ハートフル企業大賞(知事表彰)】 1社

障がいのある人の雇用の促進に貢献し、功績が顕著である府内の事業所等を表彰します。

平成22年度受賞企業 『三洋商事株式会社』(東大阪市)

・事業内容 産業廃棄物処理業、リサイクル業、金属くず商
・選考理由 携帯電話の希少金属の回収、リサイクルに伴う解体に障がいのある社員の雇用を開発し、昨年度は10名、今年に入って7名を採用し、平成22年8月現在、会社全体で48名の障がいのある社員を雇用している。障がいのある社員の希望を尊重した配置転換を行い、事務補助業務での雇用もされ、職域を広げている。雇用の場を提供するだけでなく、職場実習の受け入れや周辺住民への見学の受け入れにも積極的である。また、ジョブコーチ、職業生活相談員を配置し、雇用管理、職場の定着支援に積極的に取り組んでいる。

○【ハートフル企業教育貢献賞(知事表彰)】 1社

支援学校等、生徒の職場実習への協力や雇用を行う等、継続して著しい貢献を行った事業所を表彰します。

平成22年度受賞企業 『有限会社薩喜庵(さつきあん)』(高槻市)

・事業内容 和菓子の製造・販売
・選考理由 常用雇用従業員10名以下の事業所である同社本店は、平成14年より9年間にわたり、延べ20人の高槻支援学校の障がいがある生徒の職場体験実習に協力している。他に茨木支援学校や千里青雲高等学校の共生推進教室で学ぶ生徒の受け入れもある。家庭的な雰囲気のある職場で、温かい指導を行っている。企業実習を体験する個々の生徒に応じた作業や実習期間の調整、作業場への教員の付き添いについても柔軟な対応がある。ま

た10年以上にわたって障がいのある社員を継続雇用し、学校の近隣にある地域の事業所として、職業教育への協力・支援が行われている。

○【ランプのともしび大賞（NPO表彰）】3社

障がいのある人の雇用に関わる様々な取組みのうち、特徴のある取組みや独自性を表彰します。

平成22年度受賞企業（五十音順）

『ケイエス冷凍食品株式会社』（泉佐野市）

『社会福祉法人白鳩会 アンデスのトマト』（東大阪市）

『東京海上ビジネスサポート株式会社 大阪支社』（大阪市中央区）

木津川の子ら障害者と和太鼓共演 10月の全国大会

京都新聞 2010年9月14日



鼓粋との共演に向けて練習に励むサポートメンバー。前列右から2人目がリーダーの花田さん（木津川市木津・市東部交流会館）

10月17日に千葉県成田市で開かれる「日本太鼓全国障害者大会」（日本太鼓連盟主催）に、京都府木津川市の児童ら5人が、サポートメンバーとして出場する。大阪府代表の「豊里学園和太鼓鼓粋（こいき）」との共演に向け、「感動を与えられる演奏を」と練習に励んでいる。

豊里学園（大阪市旭区）は知的障害のある子どもたちが生活するの児童福祉施設。療育の一環として和太鼓を取り入れ、全国大会に9年連続で出場している。学校卒業などを機に活動を続けられなくなるケースが多く、メンバーが半減したため、今回初めてサポートメンバーを募った。

応援で大会に出場するのは、木津川市の上狛小5年花田実咲さん、奈良市の六条小4年宮地菜裕海さんらきょうだい、大阪府茨木市の三島小2年小野大地君。いずれも岡田博勝さん（59）＝木津川市木津＝が木津川市や奈良市で開催している太鼓教室の生徒で、ボランティアで鼓粋の指導もしている岡田さんが声を掛けた。

リーダーを務める花田さんは、母親と一緒に教室を見に行っただのがきっかけで、約1年半前から和太鼓を始めた。「鼓粋のメンバーの演奏はとても上手。追いつけるよう頑張りたい」と意気込む。

5人は鼓粋との合同練習やイベントなどでの共演を通じて交流を深め、本番では移動に付き添うなど、演奏以外でもメンバーを支える。指導する岡田さんは「こういう経験をすることで、子どもたちが将来、健常者と障害者の架け橋になれるのでは」と期待を込める。

県庁で障害者アート展示 = 滋賀

時事通信 2010年9月14日

障害者による芸術作品のパネル展示が、滋賀県庁舎の渡り廊下で始まった。障害者アートは、正規の美術教育を受けていないことなどから「アウトサイダー・アート」と呼ばれ、独特の世界観を表現した作品は世界中から注目を集めている。

現在、日本人の障害者作家による展覧会「アール・ブリュット・ジャポネ展」が、パリ市立アル・サン・ピエール美術館で開催されており、日本人作家63人、約730点の作品が展示されている。滋賀県庁ギャラリーでは、パリ展覧会の様子や作品をパネル展示し、アウトサイダー・アートを紹介している。

パリ展覧会は今年3月に始まり、当初は9月中旬までの予定だったが、作品に対する反

響や評判が高く、来年1月までの会期延長が決まった。同展覧会の日本側事務局を務める滋賀県社会福祉事業団は「新たな文化として日本の障害者アートが認められ、大変喜ばしい」としている。

また、同事業団が運営する美術館「ボーダーレス・アートミュージアムNO-MA」(滋賀県近江八幡市)では10日から、パリ展覧会に出展している作家の作品などの企画展「ミクロとマクロ」を開催している。



県庁ギャラリーに展示されているアウトサイダー・アート作品「無題」(喜舎場盛也作) = 10日、滋賀県庁(大沼秀樹撮影)

NHK からの情報です

9月15日(水)午後8時からのNHK教育 福祉ネットワーク

孤立する高齢者たちを救え

全国各地で所在が確認できない高齢者が相次いでいる。背景には、家族の支えを前提とした社会支援制度の限界がある、という声が上がっている。高齢者とその家族の現状はどうなっているのか？ そして高齢者のいる家族が安心して暮らしていけるセーフティネットとはどんなものなのか？ 北海道旭川市や大阪などのケースを取材し、今後どのような対策が必要なのかを考えていく。

日本の、これから × キャンペーン「無縁社会」 聞こえていますか？ 高齢者の悲鳴 2010年10月末放送予定【NHK 総合】

「日本の、これから」は、日本社会の抱える様々な問題を「、」一歩立ち止まってみんなで考えてみよう！という市民参加型の討論番組です。

毎回全国から一般市民の方20～30名をスタジオにお招きし、有識者と同じステージで討論を行っています。現在、次回の放送に向けて番組へ出演したいという方、そして今回のテーマ「高齢者」に対するご意見を募集中です。

番組を作るのは皆さんの声です。よろしくお願いいたします。

次回放送のテーマは「高齢者の孤立(無縁化)」です。

「何十年も前に出て行ったきり」「生きているのか死んでいるのかさえ分からない・・・」この夏、高齢者が所在不明になっているケースが全国で次々と明らかになりました。中には、ミイラ化するまで放置されていたケースもあって、高齢者の孤立(無縁化)は、より深刻さを増しています。この状況を私たちはどう受け止め、どう対処していけばいいのでしょうか？ 他人事ではありません。「老い」はすべての人に訪れます。

地縁、血縁、社縁など人のつながりが薄れた「無縁社会」と言われる現代。誰もが社会から置き去りにされない方法を、一緒に考えてみませんか？

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行